
令和2年度東京都中体連柔道競技部大会組み合わせ実施規定

総合体育大会（東京都体重別選手権大会）※男子個人戦

1-1 大会の位置づけ

- (1) 全国・関東大会における都代表選手の選出。
- (2) 各階級上位8名（1，2年のみ）を強化選手に指定する。

1-2 参加数

各階級50名 + 島嶼地区

1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	多摩	島嶼	計
6	6	4	8	6	10	10		50

1-3 シード基準

シード順	対象者	人数
第1	ブロック大会第1位	7名
第2	ブロック大会第2位	7名
第3	ブロック大会第3位	14名

1-4 組み合わせの方法

- (1) 全7ブロックを抽選により、a～gに振り分ける。
 - (2) 第1シードから第3シードまでを所定の位置に入れる。第3シードの2名は抽選。
『a1～g1，a2～g2，a3～g3，a4～g4』が決定。
 - (3) 各ブロックの残った選手の抽選。残りが多いブロックから抽選を行う。
第6ブロック・多摩ブロック 残り6名
第4ブロック 残り4名
第1ブロック・第2ブロック・第5ブロック 残り2名
- ☆この際、各ブロックの参加者をヤマに均等に振り分ける。
☆同一ブロックの選手どうしは、原則2回戦までは対戦しない。（出場人数による）
☆第1・2シード不在の階級があるブロックは、他のブロックの成績上位者の中から、ブロックの偏りを考慮し、抽選を行う。

1-5 順位決定戦

準決勝の敗者2名による『関東大会第3代表決定戦』を行う。

1-6 表彰

原則として上位8名の選手に表彰を行う。

（ただし、一度も勝利していない選手は表彰対象外とする場合がある）

総合体育大会（東京都中学校女子柔道選手権大会）※女子個人戦

2-1 大会の位置づけ

- (1) 全国・関東大会における都代表選手の選出。
- (2) 各階級上位8名（1，2年のみ）を新人大会・次年度総体女子体重別選手権のシード選手とする。
- (3) 各階級上位8名（1，2年のみ）を原則として強化選手に指定する。

2-2 参加数

オープン参加

2-3 シード基準

※下記の大会を参考とする。

☆平成31年度東京都中学校体重別女子柔道選手権大会

☆平成31年度東京都中学校新人体重別女子柔道選手権大会

☆第31回東京都中学生学年別柔道選手権大会

☆沖永荘一杯第31回東京都少年少女学年別柔道選手権大会

☆同一選手が2階級でシード権を有する場合、今回出場する階級でシードとする。

2-4 組合せの方法

- (1) 第1シードから第5シードまでを順番に所定の位置に配置する。複数名のシード内では抽選を行う。
 - ☆シード選手どうしのブロックの配置は考慮しないが、シード選手どうしが同一校の場合は考慮する。
- (2) 各ブロックの残った選手の抽選。
 - ☆この際、各ブロックの参加者(シード選手も含めて)をヤマに均等に振り分ける。
 - ☆同一ブロックの選手どうしは、原則として2回戦までは対戦しない。

2-5 順位決定戦

- (1) 各階級上位4名による決勝リーグ戦を行う。
- (2) なお、決勝リーグ戦における同一校選手どうしの対戦は、原則として1巡目に行うものとする。
- (3) 決勝リーグ戦の詳細は以下の通りとする。
 - ①必ず勝敗を決する。（引き分けなし）
 - ②順位は、勝ち数の多い選手を上位とする。
 - ③上記②で同等の場合は「一本」勝ち（GS一本勝ち含む）の多い選手を上位とする。
 - ④上記③で同等の場合は「技あり」による優勢勝ち（GS技あり優勢勝ちも含む）の多い選手を上位とする。
 - ⑤上記④で同等の場合は、GS「指導」の差による勝ちの多い選手を上位とする。
 - ⑥上記⑤で同等の選手が2名の場合、両者の対戦の勝者を上位とする。
 - ⑦同じく、上記⑤で同等の選手が3名の場合、再度3名による順位決定トーナメントを行い決定する。その際の組み合わせは抽選で行う。

2-6 表彰

原則として上位8名の選手に表彰を行う。

（ただし、一度も勝利していない選手は表彰対象外とする場合がある）

総合体育大会（東京都中学校対抗柔道大会）※男子団体戦

3-1 大会の位置づけ

全国・関東大会における東京都代表校の選出。

3-2 参加数

男子団体戦 推薦校4校 + 50校 計54校+島嶼

1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	多摩	島嶼	計
7	4	4	8	7	10	10		50

3-3 シード基準

男子団体戦

優先順位	シード基準
第1	前年度新人大会 優勝校
第2	前年度新人大会準優勝校
第3	前年度新人大会第3位校
第4	前年度新人大会第4位校
第5	前年度新人大会第5位校（且つブロック対抗大会優勝・準優勝）
第6	前年度新人大会第7位校（且つブロック対抗大会優勝・準優勝）
第7	各ブロック優勝（新人大会入賞せず）
第8	各ブロック準優勝（新人大会入賞せず）
第9	各ブロック3位

☆推薦校が不参加の場合は、同一ブロックで代替校を推薦する。空位となった箇所は、推薦校の中で、下位シードからつめていき、代替校は最下位シードの扱いとなる。

☆第1～第4シードは、推薦とし、ブロック予選免除とする。

☆ブロック予選において、第5・第6シードが同一ブロックの場合、ブロック予選の結果をもって、シードの上位とする。

3-4 組合せの方法

男子団体戦

- (1) 第1シードから第6シードまでを所定の位置に入れる。複数校のシード内では抽選を行う。第1シードから第6シードが決定。
- (2) 全7ブロックを抽選により、a～gに振り分ける。*シードにより一部決定済み
- (3) 第7シードを所定の位置に入れる。
- (4) 各ブロックの残った学校の抽選。残りが多いブロックから抽選を行う。
☆この際、各ブロックの参加校（シード校も含めて）をヤマに均等に振り分ける。
☆同一ブロックの学校どうしは、2回戦までは対戦しない。（出場校数による）
☆シード校における同一ブロックの学校のヤマの偏りは考慮しない。

3-5 順位決定戦

男子団体戦 ベスト16の学校を対象に、ダブルレペチャージ方式の順位決定戦を行う。また、第3位の2校による『関東大会代表順位決定戦』を行う。但し、本戦トーナメントで対戦済みの場合は再戦は行わず、その勝者を第3代表とする。

3-6 表彰

男子団体戦 順位決定戦の結果通り、優勝・準優勝・第3位・第4位・第5位（2校）第7位（2校）の8校を表彰する。

総合体育大会（東京都中学校対抗女子柔道大会）※女子団体戦

4-1 大会の位置づけ

全国・関東大会における東京都代表校の選出。

4-2 参加数

オープン参加

4-3 シード基準

女子団体戦

優先順位	シード基準
第1	前年度新人大会 優勝校（1校）
第2	前年度新人大会準優勝校（1校）
第3	前年度新人大会第3位校（1校）
第4	前年度新人大会第4位校（1校）
第5	前年度新人大会第5位校（2校）
第6	前年度新人大会第7位校（2校）

4-4 組合せの方法

女子団体戦

- （1）シード基準に該当した上位8校を振り分ける。但し、点数化したものが同列の学校は抽選とする。
- （2）各ブロックの残った学校の抽選。残りが多いブロックから抽選を行う。
☆この際、各ブロックの参加校（シード校も含めて）をヤマに均等に振り分ける。
☆同一ブロックの学校どうしは、原則として1回戦で対戦しない。（参加校数による）

4-5 順位決定戦

女子団体戦 ベスト8の学校を対象に、シングルレペチャージ方式の順位決定戦を行う。

4-6 表彰

女子団体戦 順位決定戦の結果通り、優勝・準優勝・第3位・第4位・第5位（4校）の8校を表彰する。

東京都中学校新人柔道大会 ※男子団体戦

5-1 大会の位置づけ

男子団体戦 上位4校を次年度の対抗大会推薦校（ブロック大会免除）とする。

5-2 参加数

男子団体戦 計50校 + 島嶼

1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	多摩	島嶼	計
7	4	4	8	7	10	10		50

5-3 シード基準

男子団体戦

シード順	対象校	校数
第1	ブロック大会第1位校	7校
第2	ブロック大会第2位校	7校
第3	ブロック大会第3位校（2校）	14校

☆第1～3シードまで不在の学校があるブロックは、他のブロックの成績上位者の中から、ブロックの偏りを考慮し、抽選を行う。

5-4 組合せの方法

男子団体戦

- (1) 全7ブロックを抽選により、a～gに振り分ける。
- (2) 第1シードから第3シードまでを所定の位置に入れる。第3シードの2校は抽選。
『a1～g1, a2～g2, a3～g3, a4～g4』が決定。
- (3) 各ブロックの残った学校の抽選。

第6ブロック・多摩ブロック 残り6校

第4ブロック 残り4校

第1ブロック・第5ブロック 残り3校

☆この際、各ブロックの参加校（推薦校・シード校も含めて）をヤマに均等に振り分ける。

☆同一ブロックの学校どうしは、2回戦までは対戦しない。

5-5 順位決定戦

男子団体戦 ベスト16の学校を対象に、ダブルレペチャージ方式の順位決定戦を行う。
但し、第3位決定戦において、進出した両校が本戦トーナメントで対戦済みの場合は、再戦は行わず、その勝者を第3位とする。

5-6 表彰

男子団体戦 順位決定戦の結果通り、優勝・準優勝・第3位・第4位・第5位（2校）
第7位（2校）の8校を表彰する。

東京都中学校新人女子柔道大会 ※女子団体戦

6-1 大会の位置づけ

女子団体戦 上位8校を次年度総体（団体戦）のシード校とする。

6-2 参加数

女子団体戦 オープン参加

6-3 シード基準

女子団体戦 当該大会にエントリーした選手（中学1・2年生）の今年度の総合体育大会女子団体戦・個人戦を参考にする。

6-4 組合せの方法

女子団体戦

- (1) 全7ブロックを抽選により、a～gに振り分ける。
- (2) 第1シードから第2シードまでを所定の位置に入れる。
第3シードの2校は抽選。
- (3) 各ブロックの残った学校の抽選。
*この際、各ブロックの参加校(推薦校・シード校も含めて)をヤマに均等に振り分ける。
*第1シード校が7校に満たない場合、第2シードの学校の中から、競技委員会が推薦する学校を第1シードに繰り上げるものとする。

6-5 順位決定戦

女子団体戦 ベスト8の学校を対象に、ダブルレペチャー方式の順位決定戦を行う。

6-6 表彰

女子団体戦 順位決定戦の結果通り、優勝・準優勝・第3位（2校）・第5位（4校）の8校を表彰する。

東京都中学校新人体重別選手権大会 ※男子個人戦

7-1 大会の位置づけ

- 男子個人戦 (1) 各階級上位の結果を次年度総体体重別選手権・次年度新人大会において考慮する。
- (2) 各階級上位8名を原則として強化選手に指定する。

7-2 参加数

男子個人戦 各階級50名

1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	多摩	島嶼	計
6	6	4	8	6	10	10		50

7-3 シード基準

シード順	対象者	人数
第1	ブロック大会第1位	7名
第2	ブロック大会第2位	7名
第3	ブロック大会第3位	14名

*当該年度の総合体育大会の結果を考慮する

7-4 組み合わせの方法

- 男子個人戦 (1) 全7ブロックを抽選により、a～gに振り分ける。
- (2) 第1シードから第3シードまでを所定の位置に入れる。第3シードの2名は抽選。
{a1～g1, a2～g2, a3～g3, a4～g4} が決定。
- (3) 各ブロックの残った選手の抽選。残りが多いブロックから抽選を行う。
第6ブロック・多摩ブロック 残り6名
第4ブロック 残り4名
第1ブロック・第2ブロック・第5ブロック 残り2名
- *この際、各ブロックの参加者をヤマに均等に振り分ける。
*同一ブロックの選手どうしは、原則として2回戦までは対戦しない。

7-5 順位決定戦

男子個人戦 特に行わない。

7-6 表彰

- 男子個人戦 原則として上位8名の選手に表彰を行う。
(ただし、一度も勝利していない選手は表彰対象外とする場合がある)

東京都中学校新人体重別女子柔道選手権大会 ※女子個人戦

8-1 大会の位置づけ

- 女子個人戦 (1) 個人成績を点数化し、次年度総体(団体戦)のシード校を決定する。
(2) 各階級上位4名を次年度総体女子体重別選手権・次年度新人大会のシード選手とする。
(3) 各階級上位8名を原則として強化選手に指定する。

8-2 参加数

女子個人戦 オープン参加

8-3 シード基準

女子個人戦

シード順	対象者	人数
第1	総体優勝	1名
第2	総体準優勝	1名
第3	総体第3位・※3位は2名	1～2名
第4	上記のシード選手以外で、強化委員が特に推薦する者 *総体第5位の選手	若干名
第5	上記のシード選手以外で、各ブロック競技委員が特に推薦する者	ブロック 1名

- *第1シードから第4シードまでの選手は、合わせて8名程度とする。
- *同一選手が2大会とも入賞の場合、上位成績をシードの対象とする。
- *階級を変更した場合、シードランクを1つ下げる。
- *同一選手が2階級でシード権を有する場合、今回出場する階級でのシードを対象とする。

8-4 組合せの方法

- 女子個人戦 (1) 第1シードから第5シードまでを順番に抽選する。
*シード選手どうしのブロックの配置は考慮しないが、シード選手どうしが同一校の場合は考慮する。
- (2) 各ブロックの残った選手の抽選。
*この際、各ブロックの参加者(シード選手も含めて)をヤマに均等に振り分ける。
*同一ブロックの選手どうしは、原則として2回戦までは対戦しない。

8-5 順位決定戦

女子個人戦 特に行わない。

8-6 表彰

- 女子個人戦 原則として上位8名の選手に表彰を行う。
(ただし、一度も勝利していない選手は表彰対象外とする場合がある)